



わかば

2020. 9. 5
(令和2年) 第20-19号

文責 校長 保谷 力

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

教育目標 「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

重点目標 一人一人の笑顔輝く学校づくり～期待登校・満足下校～

校長 保谷 力



今週はHillsboroにあるYamato Transport USA様倉庫に出向き、日本から届いた小1～小6の教科書の仕分け作業を事務局の方と行いました。担当する学年を各々が決め、一冊一冊手にとりながら袋に詰めていきます。袋詰めをしながら、このようにアメリカにいても真新しい教科書が無料で配布される日本人学校の子供たちは幸せであると感じました。校長として望むことは、こうした当たり前のことを、子供たちが価値あるものととらえ、ぼろぼろになるほど使い込み勉強に励んでくれればと思います。聞くところによると、多くの現地校は前の生徒のお下がりを使用するそうです。

さて、わかばでもお伝えしましたが、コロナ禍における緊急的な対策として、暫定的に進めてきましたオンライン授業ですが、未だにその終息が見えず、9月以降も継続する運びとなりました。ついては、これまでの短時間集中型の授業から、時間数を増やすことでゆとりある学習時間の確保へと改善いたしました。施行は10月から、後期の授業に合わせて行います。詳細については事務局より別途お便りが出ますのでご覧ください。



6年生 国語 宮沢賢治「やまなし」より



底の黒い三つかけ法師が、おどるようにして、かげを追う。(左)

銀の色の腹の魚が泳ぐ。(右)

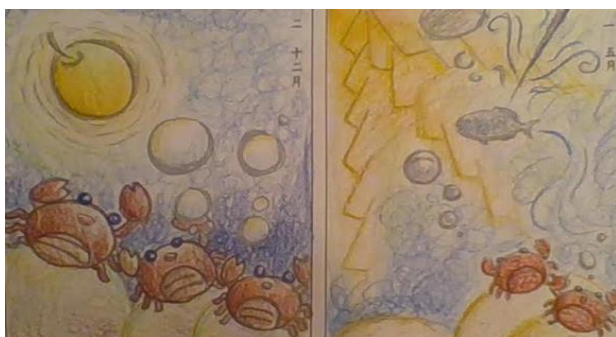
室井 和美



山になっているなしを父さんガニと子供2匹がながめている。(左)

お父さんのカニと2匹の子供のカニが、カワセミに襲われた魚を見ている。日光が水の中にはいつてきている。(右)

ジョンストン賢



カニの子供らは、もう、よほど大きくなり・・・。
(あわの大きさ比べ)

やまなし

きらきらっと、黄金のぶちが光りました。(左)

「クラムポンは笑ったよ。」つぶつぶのあわが流れていきます。日光の黄金 波からくる光の網 青色のまるできらきらする鉄砲玉 コンパスのように。

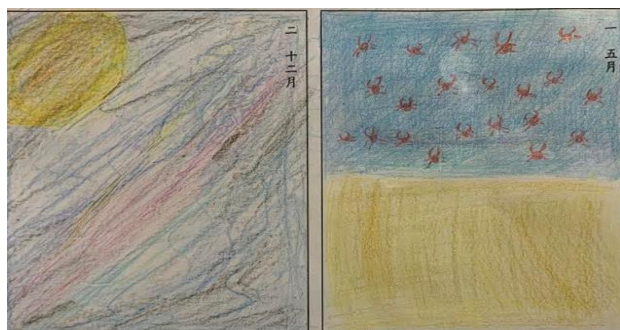
白田こころ



ぼくは、3人のカニがやまなしを追っているところをかいてみました。(左)

ぼくは、2匹の子供らが青い鳥のようなものを見ている絵をかいてみました。(右)

谷田部大輝



やまなしの上に月光の虹がもかもか集まる。(左)

青白い水の底にいるカニの子供 (右)

宮 愛琳

イーハトーブの世界を描いた宮沢賢治の「やまなし」小学校の6年生の教科書に取り上げられ、長い年月が経ちます。指導者の中には難解だと嘆く先生もありますが、難しいことを考えず、この絵のように、その時々的情景を自由に思い描ければ、それでよいのだと思います。校長